

自己紹介



佐藤 亜紀

大熊町に住んでいる、
笛とうたと畑と田んぼと海が好きな人です。

自己紹介②

1982年 双葉町で生まれる

2011年 東日本大震災

2014年～大熊町復興支援員コミュニティ支援担当（～2021年3月まで）
避難先にてばらばらに暮らす町民のつながりの再構築（組織化支援）、
伝統芸能保存継承支援、90歳ヒアリング活動、
大熊町内イベント企画運営 等

2017年 大熊町の人と結婚

2019年 4月10日の避難指示解除より大熊町在住。

2021年～HAMADOORI13事務局（福島県浜通りの広域連携、若者支援事業 等）
HITOkumalab（ヒトクマラボ）代表

大熊町のコミュニティ支援、文化、伝統芸能や農業に浸る日々を送り、
この地域の文化・伝統を保存継承する活動を行っている。

この地域にもともとあったことを生きた形で残したい。

大熊町での暮らしについて、毎日発信中。

伝統芸能が好き！！①



2014年に初めて見た時から熊川稚児鹿舞の追っかけをしていた私。
憧れのアイドルのような存在。
まさか熊川稚児鹿舞の一員になって同じステージに立つことができるとは！

伝統芸能が好き！！②



町の笛の師匠に怒られながら篠笛を練習！
現在は20代～40代の町のみんで盆踊りのお囃子を楽しみながら練習する「平馬会」の運営もしています。
あんなに怒られていた私が人に笛を教える日がくるとは・・・

田んぼが好き！！！！



双葉のお米を食べて育ちました。震災までお米は買ったことがなかった。
この地域の田園風景が好きです。
今年から我が家でも稲作をはじめました。
この地域にもっともっと田んぼが増えますように。
自分の住んでいる場所でとれた野菜を食べて生きていきたい。

畑が好き！！！！



震災前の大熊町は梨とキウイが自慢の「フルーツの香り漂うロマンの里」でした。大川原で避難指示が解除される前の年からもともとあったキウイの木の世話を始めました。ふたば未来学園の生徒さんが我が家のキウイでお菓子作りをしたりしてくれています。今年は学び舎ゆめの森の生徒さんが収穫しにきてくれる予定です。

町の大先輩たちが好き！！！！



大熊町にずっといたいと思ったのは町の大先輩たちが大好きになってしまったから。
全町避難という大変なことを経験した皆さんの強さ優しさ明るさに惚れてしまいました。
まだまだ大先輩たちから学びたいことだらけで、いろんな活動に参加して勉強しています。
おおくまふるさと塾、大熊町ひまわりプロジェクト・・・などなど

町の大先輩たちが好き！！②



町の大先輩たちと一緒にイベントの企画運営しているおおくまコミュニティづくり実行委員会。
実行委員会の立ち上げから関わらせてもらっています。
夏はなつ祭り、冬はもちつき・・・などなど。
もともとあった町の良さをいかした手作り感いっぱいのイベントをみんなで運営しています。
地元企業にも実行委員会のメンバーとして参加してもらっています！

町の人たちが好き！！！！



大熊町にある喫茶レインボー。
音楽好きのマスターがきっかけとなり、音楽サークルRainbow Music Clubが誕生しました。
震災前から大熊町に住んでいた方、私のような移住者、お仕事で町に来られている方・・・
様々な人が参加しているサークルに成長しました。
月に一回程度大熊町で音楽イベントを開催し、少しずつ輪を広げています。